

世界的経済危機の余波わが国漁業を直撃！

～ 岩手県あわび漁業、単価暴落により多額の共済金支払いの見込み ～

近年、わが国の水産物流通は世界的な好景気を背景に比較的安定していましたが、昨年に突如起こったアメリカ合衆国発の金融システム不安による激震が全世界の実体経済へ急速に波及し、その余波はわが国にも到来しています。

これは驚異的な経済発展を示していた中国も例外でなく、これまで好景気を背景とした需要増を満たすため、日本から大量に輸入していました高級食材の「干しあわび」の消費が香港を中心として大幅に停滞し、日本国内の輸出向けあわびの在庫量が急増したことから、昨年11月以降の岩手県産あわびの入札単価は、前年比で約4割もの落込みとなりました。

岩手県における「ぎょさい」の加入率は全国的にも高く、補償内容も手厚いものとなっていますが、その中でも特に「あわびをとる漁業」は古くより「ぎょさい」に加入して頂いており、加入内容も全契約が全事故てん補方式(減収額のすべてを補償対象とする加入方式)で、平均契約割合もほぼ100%となっています。今年度は、全ての共済契約が事故に該当し、支払共済金も7億円を超えると見込まれており、結果として「ぎょさい」利用を災害対策として有効に活用していただくことができたわけです。

最新の流通統計(農林水産省 産地水産物流通統計)を見ますと、世界的な景気悪化のしわ寄せはあわび漁業だけに留まらず、他の魚種でも卸売単価が下落傾向にあることが認められ、わが国の漁業を取り巻く環境が一段と厳しさを増していることが分かります。(下記表参照)

| 品目 | 累積の平均卸売価格(円/kg) | | | 近3ヶ月の平均卸売価格(注)(円/kg) | | |
|-----------|-----------------|----------------|------------|----------------------|----------------|------------|
| | 19年 1月～12月 | 20年 10月～12月 | 対前年 同期比 | 19年 1月～12月 | 20年 10月～12月 | 対前年 同期比 |
| まぐろ(生鮮) | 1,603 | 1,648 | 103% | 2,489 | 2,049 | 82% |
| 〃(冷凍) | 2,746 | 2,822 | 103% | 3,031 | 2,360 | 78% |
| かつお(生鮮) | 275 | 299 | 109% | 309% | 295% | 96% |
| 〃(冷凍) | 163 | 201 | 123% | 182 | 183 | 100% |
| まいわし | 101 | 112 | 111% | 127 | 124 | 98% |
| まあじ | 188 | 220 | 117% | 167 | 189 | 113% |
| さば類 | 82 | 86 | 105% | 98 | 83 | 85% |
| さんま | 73 | 162 | 90% | 60 | 46 | 76% |
| するめいか(生鮮) | 159 | 183 | 102% | 150 | 162 | 108% |
| 〃(冷凍、近海) | 233 | 214 | 92% | 233 | 216 | 93% |

注:加重平均にて算出

このような時だからこそ、不慮の災害に対する備えとして充実した補償内容で「ぎょさい」に加入し、漁業経営の安定に活用していただけたらと切に願います。